

チーム

東中学校
女子バレーボール部通信
NO. 161号
4月16日(火)

3年生の頑張り

日曜日の練習試合、プラス面でもマイナス面でも、とても大きな収穫のあった一日になりました。プラス面では、これまで全くと言っていいほどセットを取れなかった水野中・清洲中からセットをとることができました。内容的にも、少しずつ最後の粘りがチーム全体についてきたし、“拾う”という点については両チームと互角の力がついてきたと思います。しかし、まだまだプラス面が続かない・マイナス面が目立ってしまうのが、今のチームの現状です。

- ・サーブミス
- ・連続サーブカットミス
- ・フェイントへの対応

まだまだ他にもあります。改めて先生が言わなくても、自分たちで気づいているはずです。春の大会まで残り2週間、まだ間に合います。

最後に水野中学校の梶野先生から「3年生の頑張りが大切!」といった趣旨に言葉をかけてもらったようですね。昨年度を思い出してみても、4月から7月までの4ヶ月間で技術面・精神面共に大きく伸びた3年生はたくさんいました。そして、そういった姿を間近で見ているのは、今の3年生のはずです。「諦めたときが本当の意味での終わり」という言葉もあります。最後の3年生としての意地を見せましょう。最後までがむしゃらにボールを拾い続けましょう。3年生のそういった姿勢・表情が、チーム全体をよりよい方向に導いてくれるはずです。



【先輩としての姿勢・表情】

今日から一年生の体験入部がスタートします。2週間にわたって、たくさんの一年生が体験入部に来るでしょう。その時に先輩として優しく教えることも大切ですが、それ以上に

“必死に取り組む姿勢・表情”を後輩たちに見せてほしいと思います。一年生が「私達もこんな先輩になりたい!」「努力して、こんなプレーができるようになりたい!」と自然に感じられるような練習の雰囲気をもみんなで創っていきましょう。



最後に、ぜひこの機会に2年前・1年前の自分自身を思い出してみてください。緊張の中にも、「中学校では部活を頑張ろう!」とやる気に満ちあふれていたかと思います。その時の気持ちを忘れかけている人はいませんか。あの時の気持ちをもう一度思い出し、新たな気持ちで日々の練習に取り組んでいこう。

